



八中だより



令和5年4月11日 4月号
調布市立第八中学校
校長 馬場 誠

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chofu8/>

「心理的安全性」の高い学校を目指して

校長 馬場 誠

今年は桜の開花が早く、生徒たちを迎える頃には散り始めていましたが、それでもピンクの花びらが絨毯となって広がる道を行く生徒たちの姿には、新しい第一歩を踏み出す清々しさ、春にふさわしい若い力を感じます。

私は今年度、第八中学校に赴任した馬場といたします。どうぞよろしくお願いいたします。

4月6日(木)の始業式では、新2、3年生が体育館に並び校歌の合唱を聞かせてくれました。赴任したばかりの私にとって初めて耳にする校歌でしたが、その歌声からは中学生らしい元気の良さが伝わりました。先生方の紹介のときには、先生のちょっとしたユーモアに屈託のない笑い声が起り、温かな空気に包まれました。2年生122名(4学級)、3年生99名(3学級)の明るいスタートです。

4月7日(金)には1年生116名(4学級)を迎えて入学式が行われました。多くの保護者の皆様にご出席いただき、中学校生活の幕開けにふさわしい式となりましたこと、御礼申し上げます。生徒呼名では、誰もが大きな声で返事をして、背筋の伸びた立派な姿勢で立ち上がり、また、誓いの言葉では、代表生徒が壇上にいる私の目をしっかりと見つめてよどみなく言葉を述べることができました。来賓の方々からも、「とても立派な新入生ですね。」とお褒めの言葉をいただきました。

さて、生徒の皆さんには始業式、入学式の両方で、私から同じ話を聞いてもらいました。それは「心理的安全性」についてです。前任の校長の佐藤政彦先生から受け継いだ言葉で、この第八中学校で最も大切にしたい言葉です。「心理的安全性」というとちょっと難しく聞こえますが、簡単に言うと「そこにいる誰もが恥をかかされることなく、自分らしさを受け入れてもらえるような関係」のことをいいます。周囲から自分がおとしめられるような環境では、人は誰でも心にフタをしてしまいます。逆に「知らないことがあっても発言していいんだよ」「失敗は大目にみよう、誰だって失敗はするさ」「ここにいる誰が欠けてもそれは私たちにとってよくないことだ、一人一人が大切な存在なんだ」そう言い合えるような集団にいと、毎日が楽しく、力がみなぎります。「心理的安全性」が高い集団は、何をしてもうまくいく集団です。今年も、この言葉の実現を目指し、よりよい学校作りを進めて参りますので、保護者、地域の皆様には変わらぬご支援をお願いいたします。

令和5年度 学校スローガン

「心理的安全性の高いさわやかな学校を目指して “自分らしく飾らずに”」